

平成 25 年度事業計画

財団法人小堀遠州顕彰会

(1) 報告事項(1)平成 25 年度事業計画

(1) 茶会

(イ) 遠州忌茶会

平成 25 年 5 月 11 日 (土) 京都・大徳寺塔頭孤篷庵 (小堀遠州公菩提寺・重要文化財保護建造物) を開放して、開催する。午前 9 時、同庵本堂における遠州茶道宗家 13 世小堀宗実家元の供茶に始まり、法要を営み且つ、山雲床席において的庵・小河宗謙氏が濃茶席を、また、忘筌席においては名古屋世話人・野崎洋二理事が薄茶席を、其心庵では小堀宗実家元が薄茶席の釜を掛け、遠州公の遺徳を顕彰する。

(ロ) 御自影天神供養茶会(天神茶会) 平成 26 年 2 月 25 日(火) 遠州茶道宗家 (東京都新宿区若宮町) において、遠州公の信仰深かった御自影天神を供養する茶会を開催する。

(ハ) 小堀遠州の世界 2013

平成 24 年 11 月に開催される岡山県高梁市の高梁再発見事業「小堀遠州の世界 2013」を後援する予定である。

(2) 展覧会

平成 26 年 3 月 9 日 (日) に東京美術倶楽部重文展示室において、小堀遠州ゆかりの茶道具を展覧する。

(3) 講演会

(イ) 平成 25 年 10 月 14 日(月・祝) 江戸東京博物館会議室において、第 8 回秋季講演会を開催する。講師は三重大学教育学部日本史研究室教授 藤田達生先生。テーマは「泉州と遠州一寛永時代の源流」である。

(ロ) 平成 26 年 3 月 23 日 (日) にニショーホールにおいて、第 27 回公開討論会を開催する。講師は池内克哉監事・熊倉功夫理事・林屋晴三常務理事・小堀正晴理事の予定。テーマは検討中である。

(4) 小堀遠州と深き縁のあった加賀前田家に仕えた遠州の孫 小堀新十郎、遠州の甥 孫兵衛の墓が発見され平成 25 年 5 月 6 日「遠州一族遺跡保存会」が発会されたので、その事業を後援する。

(5) 刊行事業

『小堀遠州の書状』第三集を発行する為、資料を収集し、編集を継続する。

(6) 会報の発行

会報『天霽（てんせい）』35号を平成25年度中に発行し、会員に配布する。

(7) 成趣庵の公開

成趣庵の茶室・露地を公開して茶会を開催し、小堀遠州より繋がる建築・造園の美意識を顕彰し、紹介する。

(8) 文化交流

(イ) 日本・シンガポール親善文化交流

シンガポール国立大学日本研究学科において、毎月茶道教室を開催し、遠州の茶道を紹介する。

(ロ) 日本・オランダ親善文化交流

本年も引き続き日蘭文化交流を継続する。

(ハ) 遠州流茶道東欧文化茶会

日本・ポーランド文化教育交流取極35周年、日本・ハンガリー文化交流取極40周年を記念して、平成25年4月14日～22日の期間に、ワルシャワ・ブタペストにおいて茶会を開催し、広く遠州流茶道を紹介した。

(9) 茶道指導

小堀正晴理事により広く一般を対象として、遠州の茶道の指導を行う。

(10) その他

(イ) 財団移行について

『公益財団法人 小堀遠州顕彰会定款（案）』を議場にて諮り承諾を得て、本年11月30日までに、公益財団法人へ移行手続きを行う。

(ロ) 役員移動について

- 1、理事 赤坂政次氏は、平成25年3月11日逝去により退任。
- 2、評議員 若林昭子氏は、一身上の都合により平成24年度をもって退任。

以上が平成25年度における当財団の事業計画の概要である。